「コロナ感染症になっても安心して暮らせる岡山学区民宣言」

の作成経緯、作成段階でのひろがり

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　R2.9.5

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　R2.9.9改

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　R2.10.7改

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　R2.10.21改

[作成経緯]

6月

　・毎年の「住みよいまちづくり講座（人権研修）」を開催するにあたり、本年度のテーマ

　　を「感染症と差別」とし地元市立病院医師を招聘することになる

7月

　・講師より「地域住民がコロナ感染症にどのような思いをもっているか」を簡単なアン

ケートをして情報収集してはとの意見

8月

　・コロナ感染症に関する住民アンケートにおいて、３人に１人が「地域住民から避けら

　　れる、やっかいもの扱いされる」という気持ちをもっていることが判明

8月26日

　・講師より、感染症の医療的知識、全国の感染症的差別事象、住民としてどう考えていけばよいかの講演などをいただく

　・まち協会長より、地域づくりの最前線でもあるコミュニティーから当該感染症に係るいわゆる「村八分」的な馬鹿なことは絶対にゆるされることではない

　・「感染症と差別」をテーマにした講演会において、「学区民宣言」を提案

　・「８．２６住みよい町づくり講座」にて参加者に宣言文の提案をしたところ、全員より賛同していただいた

9月5日

　・自治会長会において説明（提案）したところ全員に承認していただいた

10月21日

　・市長への報告（アピール）

[宣言文作成段階での広がり]

1. 会長の原案作成
2. 事務局員の加筆修正（随時）
3. 人権尊重のまちづくり協議会会長の加筆修正
4. 小学校より小学生でも理解できるようなバージョンができないものかの検討
5. 人権擁護委員からコメント　⇒宣言の随時改定の進め
6. 自治会長会よりの加筆案（全ての感染症を対象にしたい）
7. 市人権担当者から宣言文の加筆修正案
8. 学区内周知について　　10月1日付「コミセンだより」一面に記事

　　　　　　　　　　　　　　　11月1日　宣言文を学区内全戸配布

岡山学区まちづくり協議会

岡山学区連合自治会

岡山学区人権尊重のまちづくり推進協議会